

七夕に関する楽曲コンテストに 応募するための 楽曲創作プロジェクト

京橋 ひよわ @KHiyowa

0. 前提説明

- 趣味で作詞・作曲をして動画投稿サイトに投稿している
 - いわゆる「ボカロP」
 - 学祭に出たりしている
 - 以後、「創作」と呼ぶ。創作による成果物を「作品」と呼ぶ。
- 楽曲投稿サイト「クレオフォーガ」にて、楽曲コンテストが開催された
 - 期間: 2017年5月8日(月)~28日(日)
 - 4部門があるが、今回は「七夕部門」に応募した
 - 以後、「コンテスト」と呼ぶ
- 期限のある創作はプロジェクトとして考えられる

1. 要求と達成目標

- 要求(応募要件から引用)
 - 七夕祭りや織姫・彦星をイメージした美しい楽曲であること
 - 5月28日(日) 23:59までに作品が提出されること
- 審査の流れ
 - 1次審査: 音楽家による審査
 - 2次審査: 作品を公開し、SNSや動画再生数による審査
 - 最終審査: 音楽家による入賞作品の決定
- 達成目標
 - 期限内に作品を仕上げること
 - 2次審査に残ること
 - ✓2次審査に残ることで、多くの人に作品を知ってもらえる

2. ステークホルダー

- プロジェクトチーム
 - 作曲者(私)
 - ✓曲に関して著作権を持つ
 - ✓他の権利者の同意の下、コンテスト参加の意思決定をする
 - 作詞者
 - ✓詞に関して著作権を持つ
 - ✓楽曲のコンセプトを決定する
- テストチーム
 - 創作関連の親しい人々
 - ✓公開前に作品を聴いてもらい、改善点を挙げてもらう
- 審査チーム

3-1. 開発モデル

- 創作全体はウォーターフォールで行う
 - 今回は詞先で創作を行う
 - ✓先に歌詞を書いてから曲をつける方法
 - ✓歌詞ができないと次の過程に進めない
 - 手戻りが発生しても大きな遅延は起きにくい
 - ✓ただし、歌詞の権利は作詞者にあるため、勝手に修正はできない
 - 最終リリースは応募の1回のみ

作詞

作曲・編曲・試聴

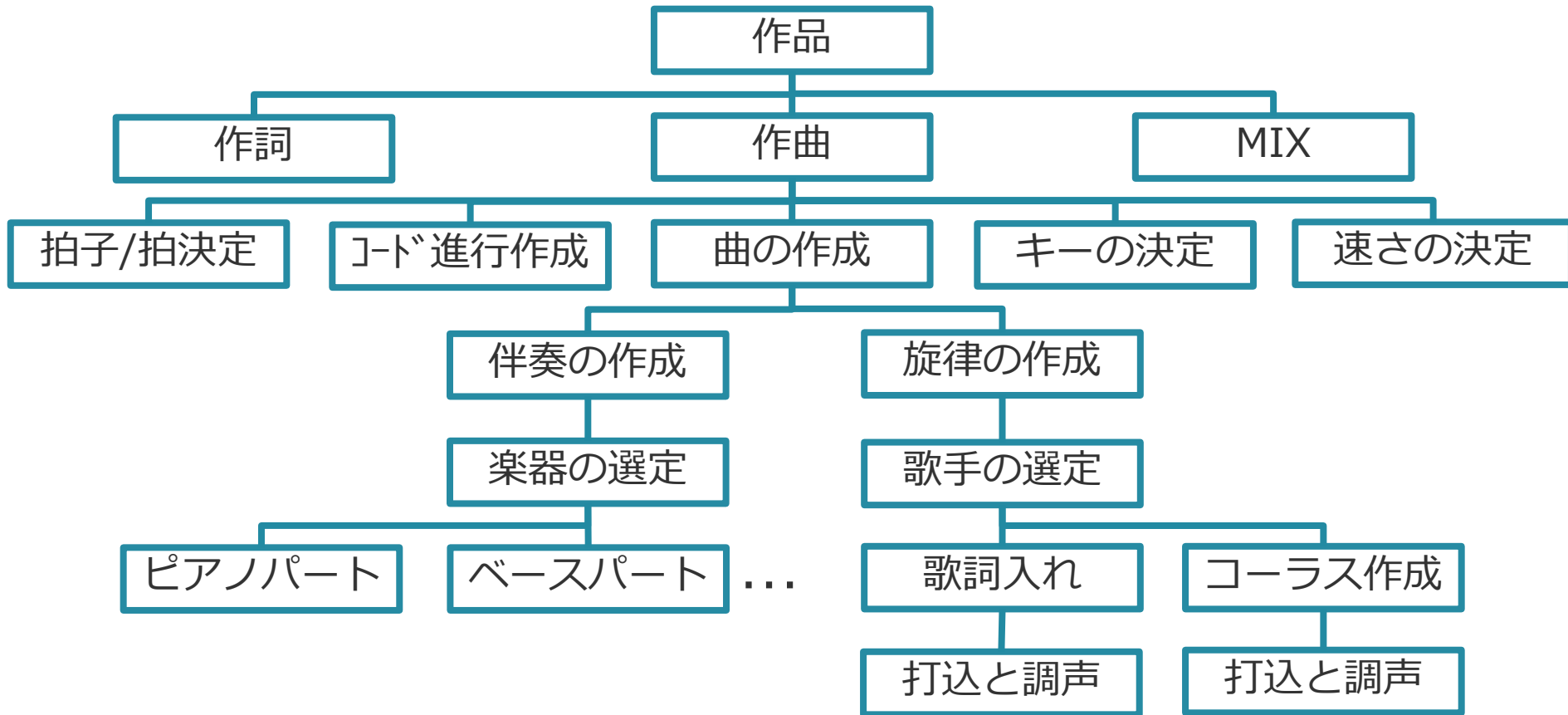
応募

3-2. 開発モデル

- 作曲・編曲・試聴過程はアジャイルで行う
 - 次の工程を短期間に繰り返し、試聴によって得られたフィードバックを元に修正を繰り返してよりよいものにする
- ✓コード : コード進行を作る
- ✓作曲 : 旋律を作る
- ✓編曲 : 伴奏を作る
- ✓歌詞入れ : 旋律に基づいて歌を入れる
- ✓コーラス : 旋律に合う別のパートを作って歌を入れる
- ✓MIX : 伴奏の各楽器と旋律のバランスを調整する
- ✓試聴 : 作品を誰かに聴いてもらう

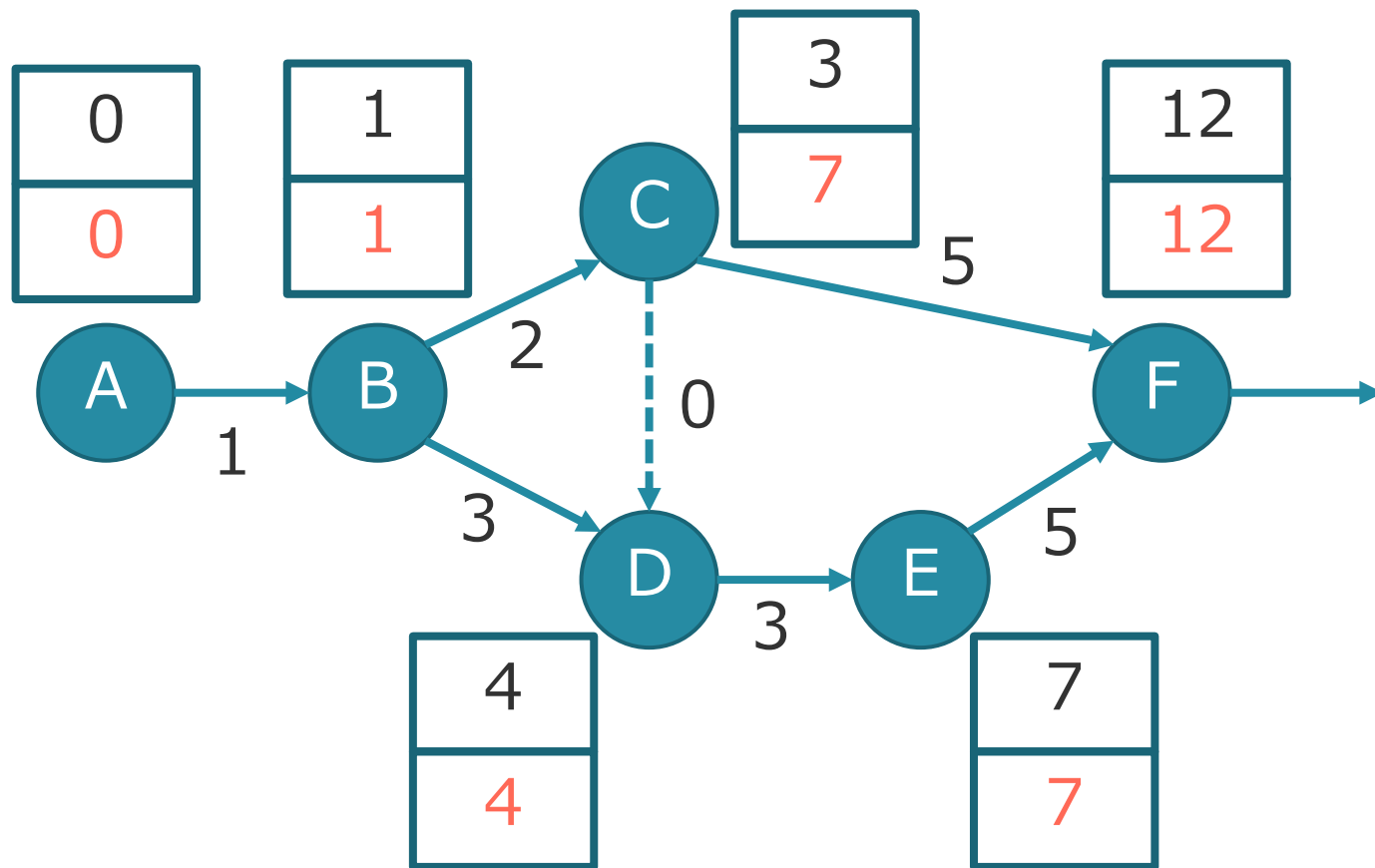
4. WBS

- WBSを以下に示す



5. アローダイアグラム

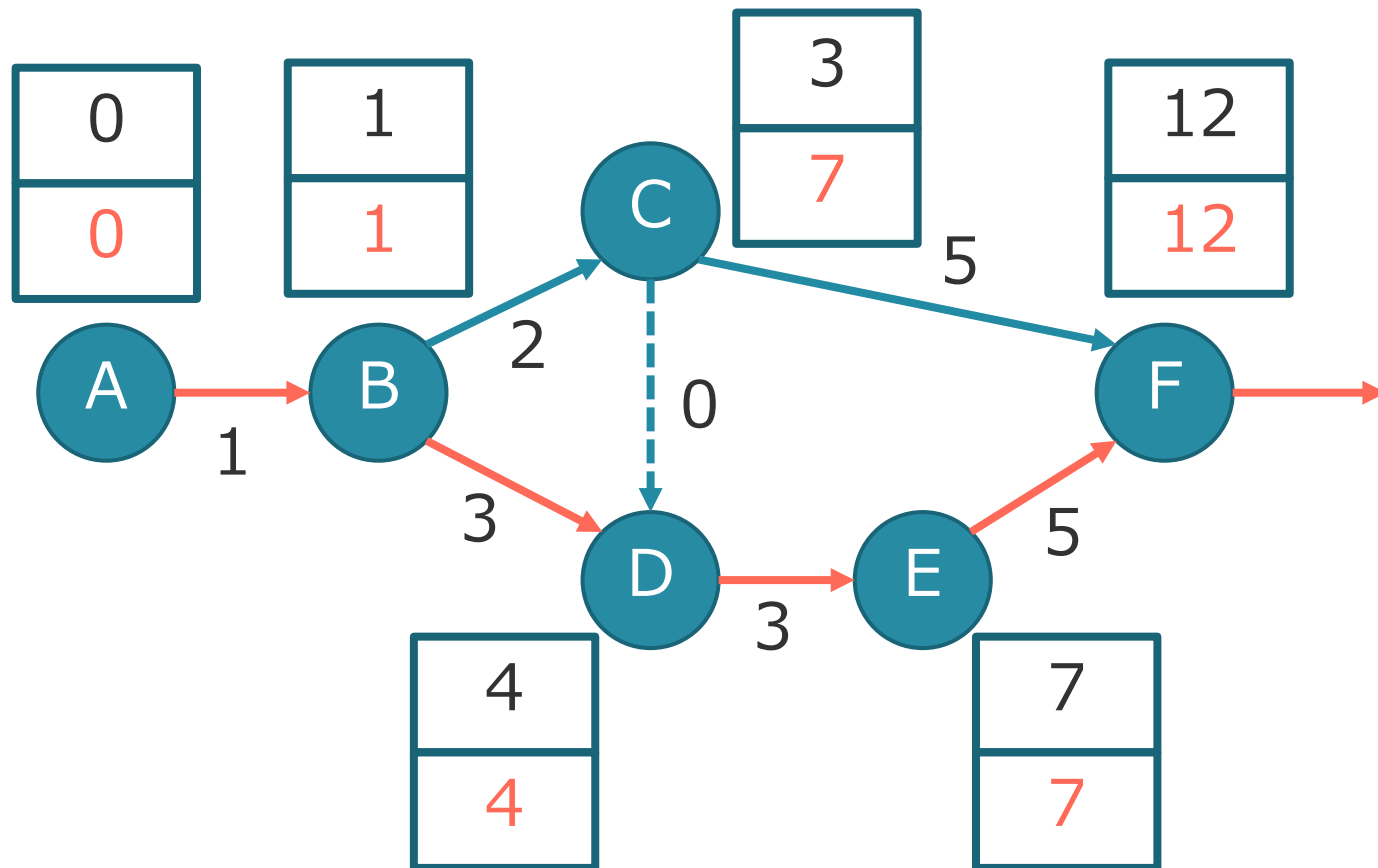
- 歌詞をもらってからMIXの手前までのアローダイアグラムを示す
 - A: 作詞 B: コード進行 C: 伴奏 D: 旋律 E: 歌詞入れ F: 編曲



5. クリティカルパス

- 伴奏と旋律を元に編曲(アレンジ)するのが一番時間がかかる

■ A: 作詞 B: コード進行 C: 伴奏 D: 旋律 E: 歌詞入れ F: 編曲



7. 品質目標値

- コンテストを勝ち抜くためには、要件を満たしつついい作品でなければならない
 - 再生数5桁超えの曲を出しているPの人々に評価をしてもらう
 - これはいいね、と最低でも数名に言われる程度の作品とする

8. 想定されるリスクと対応

- 詞が上がってこない
 - 今回は実績のある作詞者なので大きな心配はない
- 応募期間に間に合わない
 - 大学院生なので他の作業もある
 - 間に合わなければ当然ながら応募できない
- 逆に研究進捗が出ない
 - 5/23に学会発表があるけど...
- 1次選考に落ちる
 - どうしようもない
- 最優秀に選ばれる
 - 著作権譲渡の対価として賞金をもらえるが、詞は自身の著作物ではないため、運営が提示する条件を基に相談が必要

9-1. 応募

- 1週間ほどで作品が完成し、期間内にコンテストに応募した
- 七夕部門には最終的に160曲程度が投稿された
- 1次審査待ち

9-2. 発火したリスクと想定外の事案

- リスク「研究進捗が出ない」が発火した
 - 大変よろしくない
- 片方の耳が聞こえにくくなった
 - 花粉や黄砂の季節で鼻づまりで耳に来た
 - しばらくMIXができなかった

9-3. 応募作品

- 流してる時間はないですが興味ある方は。
 - 「七夕の夜に」 (みこ / 京橋 ひよわ)



<https://creofuga.net/audios/122831>